

◇ 令和4年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「渋川」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	14,734,416円	/	16,630,205円	事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	http://ayumi.hoikuen.to/nobikko_shibukawa/		2年目	16,838,276円		17,655,099円	事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定管理者名	社会福祉法人良友会		3年目	17,246,795円		20,900,253円	事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成18年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
敷地内複合施設、近隣に法人運営の渋川あゆみこども園、渋川小学校という特色を活かし、体幹遊び等で渋川まちづくりセンターの貸館、外遊びで渋川小学校運動場、夏には渋川あゆみこども園プールを利用する等、活動範囲を広げることに努める。 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、保護者とのコミュニケーションを大切に意識し、子どもの姿、成長を共有する。引き続き、子どもたちが自主的に生活できるよう支援員一同が意識して、子どもたちの行動一つ一つを丁寧に見守り、かかわっていく。 ICTシステム「コドモン」を導入し、保護者との連絡、入退室の管理等円滑に進めたい。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
感染予防対策を徹底しながら、夏には近江富士花緑公園での自然体験活動、バスを利用して国立民俗学博物館、ニフレルへの遠足、講師を招き、水泳指導やスカイプでの外国の小学生との交流を通じた英会話体験を実施する。子どもたち主体の“お楽しみ会”を子どもたちが企画、準備から開催までの経過を大切に子どもたちの自主性を育む。まちづくりセンター(貸館、大会議室)を利用して、運動遊び(体幹)を実施し、外遊びに出にくい環境の中、身体作りにも取り組んだ。体幹遊びの中でビョントレーニングにも取り組む。 冬場は毛糸を使ってマフラーや人形作りなどを楽しめる環境を整える等、年間通して季節に応じた活動に取り組む。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比べて保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1,2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に対してゆとりある支援員配置を心がけ、新入所児、保護者が安心してのびっ子の環境、生活習慣を身につけられるように丁寧にかけられるよう努めた。法人内でAEDを利用し心肺蘇生法、エビペン使用の研修を実施する。放課後児童支援員向けの研修に積極的に出席し、支援員全体で内容を共有し、支援員の資質向上に努めた。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、独自に救命講習やエビペン講習等実施し、支援員の質の向上を図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	普段より各支援員で記入しているヒヤリハットを定期的に振り返り、年度末には取りまとめたものを周知し、危機管理意識の向上に努めた。 キャリアアップ研修をはじめ、研修に積極的に出席して、支援員全体で共有し、支援員の資質向上に努めた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、独自に救命講習やエビペン講習等実施し、支援員の質の向上を図られた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1,2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月の誕生会では子どもたちの「お祝いしたい」という自主性に任せ、支援員も話し合い、準備を見守りながら会までの過程を大切にかかわった。敷地内施設やこども園を利用する等して、プール、自然体験等、季節に応じた活動を意識して各活動を計画し実施した。各個人情報書類は鍵付き書庫で管理し、個人情報の取扱いに努めた。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。保育料の徴収、管理については適正に行うように努め、市への報告も正しく行う必要があった。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月の誕生会では子どもたちの自主性に任せ、会までの経過を大切にかかわり、上半期に引き続き、まちづくりセンターを利用して、運動遊び(体幹)を実施する等子どもたちの体験や経験を意識して、保育の充実に努めた。マフラー、人形作りでは子どもたちが贈る相手を思いながら作れるよう取り組んだ。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2,3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月の各家庭へのおたより配信(コモン)はもちろん、夏休み前の個別懇談会の実施、送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切に、のびっ子での姿、家庭での姿を共有した。気になる子どもに対しては家庭との連携に含め、小学校とも連携を図りながら子どもたちの成長を見守った。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月の各家庭へのおたより配信(コモン)、学年末の個別懇談会を実施する。1月にはアンケートを実施し、集計結果を支援員間で周知し、次年度への取り組み準備に努める。申請から入所決定時期には見通しのもてない保護者や子どもとコミュニケーションを図りながら不安の解消に努めた。	下半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3,4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、維持管理に努めた。消防訓練では、複合施設合同の避難訓練(8月)に参加。セコムによる消防設備点検を実施した。出退勤時の支援員検温、健康観察をはじめ、感染予防対策にも努めた。玄関を常時施錠しインターホンで対応する等、安全対策に努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。まちづくりセンターと合同でも避難訓練を実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話がされた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	支援員による月2回の日常点検等、維持管理に努め、複合施設合同の避難訓練、警察署員による不審者対応講習(3月)への参加、セコムによる消防設備点検を実施する等、安全対策に努める。一つ間違えると大きな怪我や事故になりかねない出来事については子どもたちに周知し子どもたちの危険予知に努めた。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。まちづくりセンターと合同でも避難訓練を実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話がされた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			